

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

令和 8 年 4 月 2 3 日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は 3 年生で、国語、数学、英語の 3 教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率（英語は I R T スコア）の比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語	6 3 . 9 %					○
数学	5 7 . 0 %					○
英語	4 9 9 点		○			

※中学校英語は C B T（コンピューターテスト）のため、「I R T スコア」になります。

「I R T スコア」とは国際的な学力調査で採用されているテスト理論で、この理論を使うと異なる問題から構成される試験の結果を同じものさし（尺度）で比較できます。なお、標準点は 5 0 0 点となっております。

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	63.0%		○			
情報の扱い方に関する事項	70.4%					○
話すこと・聞くこと	63.9%					○
書くこと	67.4%					○
読むこと	59.7%				○	

【考 察】

- 全体的には、全国平均を上回る結果でした。特に「記述式」の問題は、全国平均を大きく上回りました。これは普段の授業の中で、自分の考えを文章にまとめたり、課題作文に取り組んだりした成果であると考えられますので、今後も継続して指導していきます。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、全国平均をやや下回りました。漢字の知識として読み書きだけでなく、漢字の意味の違いに注意して文脈に応じて漢字を使い分けることができるよう指導をしていきます。また、新出漢字の同音異義語を積極的に取り上げたり、意味を調べたりすることで、語句の知識を増やす学習を続けていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	67.8%					○
図 形	48.7%	○				
関 数	54.8%					○
データの活用	53.5%					○

【考 察】

- 全体的には、全国平均を上回る結果でした。特に「記述式」の問題は、全国平均を大きく上回りました。今後も授業において、問題解決の見通しを立てる場面では、自分の考えた解決方法を表現させたり、問題解決を振り返る場面では、どのような方法で解決したのかをまとめさせたりして、説明する力を高めていきます。
- 「図形」の領域では、筋道を立てて考え、証明することに課題が見られました。証明するために具体的な事象を基に、線分や角にどんな関係が成り立っているか話し合い、確かめたり関係を式で表したりする活動を通して、与えられた条件から仮定や根拠を整理し、道筋を立てて結論を導く力を育てていきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

※英語については、公表されている問題が全体の５割程度であり、国語や数学のように領域の正答率が提供されていないことから、考察のみ記載いたします。

【考 察】

- 「聞くこと」の領域では、特に既存の知識をコミュニケーションにおいて活用できる技能を見る問題において全国平均を下回りました。これは学習した内容が活用できるまで習熟していないことが原因であると考えられます。今後は授業での英語のインプットの量・質を改善するとともに、情報を正確に聞き取るような問題を解く機会を増やしていきます。
- 「書くこと」の領域では、事実や経験、自分の考えを整理して表現する問題で、全国平均を上回ったものの、与えられた情報に基づき考えを表現するといった条件作文においては、全国平均を下回っています。今後は、さまざまな条件に基づく英作文を授業で行い、必要な単語や慣用句を適切に活用する経験を増やしながら条件にあった考えが表現できるよう指導していきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中	全 国	27.4	50.8	18.6	2.7
3	東北中	20.0	62.9	14.3	2.9

(単位 %)

【考 察】

- 定期テスト前の学習会や授業での学び合いを通して、様々な学習方法に触れる機会を設けてきたことが、生徒が自分に合った学習方法を考え、工夫しながら学習することにつながっていると考えられます。
- 今後は、学習会や授業での学び合いを継続するとともに、ICTを効果的に活用し、自分の学習を振り返りながら学習方法を見直す機会を充実させ、一人一人が主体的に学習へ取り組めるよう支援していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	8.9	21.2	31.5	19.5	11.5	6.9
3	東北中	2.9	20.0	51.4	20.0	5.7	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 生活学習ノートや定期テストの学習計画を活用することで、計画的に家庭学習へ取り組む習慣が定着してきていると考えられます。一方で、より主体的に学習へ取り組めるよう、家庭学習の時間や内容をさらに充実させていく必要があります。
- 今後は、授業と家庭学習とのつながりを意識した課題を工夫するとともに、生活学習ノートや定期テストの学習計画を活用し、生徒が目的をもって家庭学習に取り組めるよう支援していきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	29.3	49.7	17.2	3.2
	東北中	37.1	42.9	14.3	5.7

(単位 %)

【考 察】

- 授業の終わりに学習内容を振り返り、分かったことや課題を整理する活動を継続してきたことで、自分の学びを見直し、次の学習につなげようとする力が育ってきていると考えられます。
- 今後も、授業で自分の理解度や課題を振り返る活動を継続するとともに、その結果を次の授業や家庭学習に生かせるよう、一人一人に応じた助言や支援を行っていきます。

4 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	76.3	18.8	3.2	1.0
	東北中	94.3	5.7	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 道徳の授業や生徒会活動を中心に、いじめについて考え、話し合う機会を継続して設けてきたことで、一人一人がいじめを許さないという意識をもち、思いやりのある人間関係づくりにつながっていると考えられます。
- 今後も、道徳の授業や生徒会活動を充実させるとともに、学級活動や教育相談を通して、生徒一人一人に寄り添いながら、安心して学校生活を送ることができる学校づくりを進めていきます。